



青南だより

平成30年4月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<自然が教えてくれること>

この春は、驚くほどに暖かい日が続き、桜やチューリップの見頃は春休み中でした。昨年は、園だより4月号に載せる自然や地域の写真を撮りながら、春を探していましたが、今年は初夏の陽気の中で、新年度を迎えることになりました。自然は時に気ままで、人間の思うようにはならないものです。しかし、だからこそ、私たち人間は自然に対して畏敬の念をもち、自然から学ぶ姿勢を忘れてはならないのだと思います。

<伸びようとする力を引き出す>

私たちの思い通りにならないという点において、子どもは自然と同じです。親でも教師でも、言葉による指示だけで子どもを動かすことはできません。言われて動いたとしても、大人の言われた通りにしか動けない子どもでは、将来の日本を託すことはできません。しかし、子どもの気持ちや思いを上手に読み取って対応すれば、驚くようなうれしい反応が返ってくることもあります。それが子どもたちと生活を共にする私たちの仕事の醍醐味でもあります。

<心の根っこを育てよう>

草花は種類によって花の時期や咲き方も違えば、水やりのタイミングや肥料のやり方、剪定の仕方にも違います。草花も子どもも、無理に引っ張っても育ちはしません。それぞれの特徴に応じて、適切な環境を整え、自分から根や枝葉を伸ばせるようにすることが大事です。幼稚園では、身近な人や自然とのかかわりから生まれる遊びや生活を通して、人への信頼感を基盤とした主体的に生きる構えを育てます。それを私は『心の根っこ』と呼んでいます。子どもたちの『心の根っこ』を皆さんと一緒に育てていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

青南の 二十四節気

・・・卯月(うづき)・・・

せいめい
清明(5日)・・・園庭の花が鮮やかな彩りを見せます・・・
こくう
穀雨(20日)・・・草木の緑が一気に伸びていきます・・・

都会でも道端に咲く可憐な花などに出会う機会はたくさんあります。港区は意外と自然が豊かで、私は勤務する園の自然や季節の移ろいを「二十四節気」に合わせてお知らせし続けてきました。身近な自然の変化に気付く心は、子どもの心のサインに気付く感性を磨くことにもなると思い、続けているコラムです。南青山の街で出会うことができる自然とのかかわりや自然からの贈り物をうまく取り入れていくことで、大人も子どもも感性を磨き、遊びや生活を豊かにしていきたいと思っています。



園長の新山裕之(あらやまひろゆき)です
今年度も「ぶうちゃん」と共にどうぞよろしく!



3月末には薄桃色の桜とかえでの新緑が競演



新しい仲間を迎え、108人でのスタートです



チューリップも今年の見頃は春休み中でした



これぞ、「おたまじゃくしの101ちゃん」!